

テーマ3：スポーツを通じた元気なまちづくりの推進

スポーツは健康増進や生活を楽しむ豊かなものにするだけでなく市民に夢や感動を与えるとともに、児童・生徒の健全な発達を促し豊かな人間性や生きる力を培っていく面で必要な役割を担っていることから、「地域スポーツ」「競技スポーツ」「学校体育・スポーツ」についてバランスよく振興を図るとともに、必要な施設整備を進め、誰もがスポーツのできる機会を提供する。

現状と課題

総合型地域スポーツクラブについては、平成22年度内部地区において設立が予定され、6つの総合型地域スポーツクラブとなる。会員数が減少しているクラブや、利用施設が不足しているクラブもあるが、今後、既存クラブの維持発展を図る上でも複数地区をまたぐ広域的なスポーツクラブの運営についても検討が必要である。

会員数合計

(保々スポーツクラブ・スポーツクラブさんさん・ビバ 橋北(特) 楠スポーツクラブ・(特) 四日市ウェルネス倶楽部)

H21 3,126人 H20 3,207人 H19 2,974人

地域におけるスポーツの振興を図るため、体育指導委員への研修を実施しているが、今後全市的な取組として、スポーツレベルにあった指導者の育成も必要である。

中央緑地公園運動施設、霞ヶ浦緑地公園運動施設は、昭和40年代に整備され約40年経過し老朽化が進んでいる。その他単体の運動施設においても老朽化が進んでおり、今後効率的な施設改修を必要とする。

【四日市市体育協会加盟団体数・人数】

	団体数	人数
平成19年度	1,118	24,051
平成20年度	1,145	24,378

リーディングプロジェクト

(市内外に情報発信できるような、スポーツイベントの実施及び誘致)

市民がスポーツを通して、「元気な四日市」を実感できるよう、例えば、トップアスリートによる各種スポーツ教室の実施、プロスポーツ公式戦の誘致、市民との協働により楽しみながら実施できるスポーツ大会など、市内外に情報発信できる魅力的な事業を実施する。また、生涯を通じ高齢スポーツが楽しめるよう、若い世代も含めた大会やイベントなどを実施する。

(地域ニーズにあったスポーツの振興)

地域スポーツを推進するため、総合型地域スポーツクラブについても、複数地区にまたがる広域化を図り、学校施設等の活用可能性をより一層高めていく。また、自主自立の事業運営ができるよう様々な支援方策を検討する。

(効率的・効果的な施設整備)

施設の充実については、既存施設の整備や効率的な利用の促進を図るとともに、現在の需要に対応できない競技種目については、改修等も選択と集中により着実に実施していく。

四日市版総合型地域スポーツクラブ模式図

